

みずほマーケット・トピック(2020 年 11 月 13 日)

週末版

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

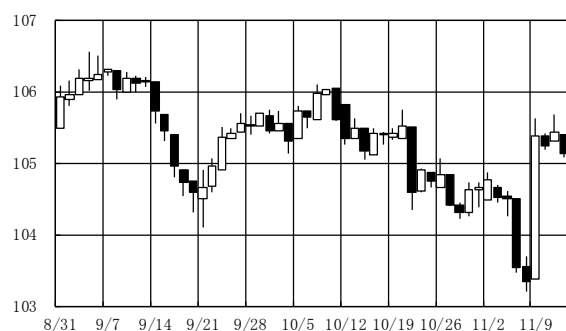
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は上昇する展開。週初 9 日、103 円台前半でオープンしたドル/円は、週末にバイデン氏の勝利宣言を受けて、一時週安値となる 103.20 円まで下落したが、米製薬大手が発表した新型コロナウイルスのワクチンの治験結果を受けて急速にリスクオンの円売りが持ち込まれると、105 円台近辺まで急伸した。10 日にかけても、ワクチンの早期開発への期待感を背景とした株式の上昇や米金利上昇を受けて、ドル/円は 105 円台半ばまで上昇。その後は、新規材料難な中、ドル/円は 105 円台前半で方向感に欠ける値動きが継続。11 日には、実需のドル売りに、ドル/円は、105 円近辺まで下落したが、日米欧の株価堅調推移や日米金利差拡大を意識し、一時週高値となる 105.68 円まで上昇した。しかし米国休場となる中、ドル/円は 105 円台前半で動意に乏しい推移となった。12 日は、米経済指標の強弱入り混じる結果に、ドル/円は 105 円前半まで下落するも、株式市場が大幅に反落する展開にドル買いが強まるとやや値を戻した。本日も、ドル/円は 105 円台前半での底堅い値動きとなっている。
- 今週のユーロ/ドル相場は下落する展開。週初 9 日、1.18 台後半でオープンしたユーロ/ドルは、ワクチン開発への期待から一時週高値となる 1.1920 まで上昇したが、オプション絡みのドル買いが進むと 1.18 割れまで反落した。10 日には、ユーロ/ドルは 1.18 台前半まで値を戻す局面があるも、1.18 台前半でレンジ推移が継続。11 日は、ユーロ/ドルは、一時週安値となる 1.1745 まで下落したが、米国市場が休場となる中で動意に乏しい推移が継続。12 日には、ユーロ/ポンドが上昇する動きやドル売りに、ユーロ/ドルは 1.18 台前半まで回復した。本日にかけても、ユーロ/ドルは 1.18 台前半での取引となっている。

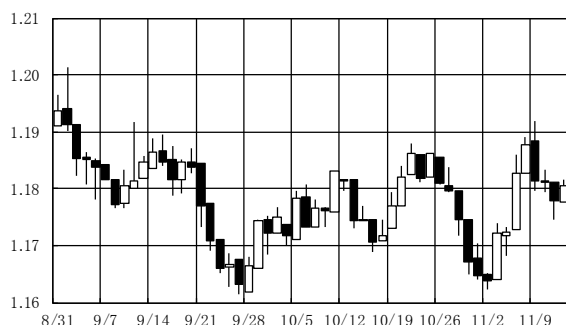
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

		前週末	今 週			
		11/6(Fri)	11/9(Mon)	11/10(Tue)	11/11(Wed)	11/12(Thu)
ドル/円	東京9:00	103.60	103.26	105.14	105.26	105.42
	High	103.76	105.64	105.48	105.68	105.48
	Low	103.18	103.20	104.83	105.01	105.07
	NY 17:00	103.35	105.38	105.24	105.43	105.13
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1816	1.1892	1.1823	1.1819	1.1778
	High	1.1891	1.1920	1.1843	1.1832	1.1823
	Low	1.1796	1.1795	1.1780	1.1745	1.1759
	NY 17:00	1.1877	1.1814	1.1812	1.1779	1.1804
ユーロ/円	東京9:00	122.39	122.73	124.20	124.34	124.18
	High	122.97	125.13	124.60	124.66	124.50
	Low	122.25	122.72	124.00	123.93	123.70
	NY 17:00	122.72	124.47	124.36	124.19	124.10
日経平均株価		24,325.23	24,839.84	24,905.59	25,349.60	25,520.88
TOPIX		1,658.49	1,681.90	1,700.80	1,729.07	1,726.23
NYダウ工業株30種平均		28,323.40	29,157.97	29,420.92	29,397.63	29,080.17
NASDAQ		11,895.23	11,713.78	11,553.86	11,786.43	11,709.59
日本10年債		0.02%	0.01%	0.03%	0.03%	0.03%
米国10年債		0.82%	0.92%	0.96%	-	0.88%
原油価格(WTI)		37.14	40.29	41.36	41.45	41.12
金(NY)		1,951.70	1,854.40	1,876.40	1,861.60	1,873.30

ドル/円相場の動向



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、19日(木)に10月中古住宅販売件数の発表を控える。9月は前月比+9.4%の増加と8月(同+2.0%)から伸びが回復し、市場予想を上回る結果を見せた。件数ベースでは654万件となっており、新型コロナウイルス感染拡大前の水準を上回る状況が続いた。9月の在庫月数(在庫件数÷販売件数)は2.7か月(8月:3.0か月)と縮小し、統計開始以来では初めて3か月を割り込む結果となった。在庫件数は16か月連続で減少しており、供給ペースの維持が課題として指摘される。また、販売価格の中央値は31.2万ドルと前年比+14.8%上昇し、前月に続き過去最高の水準となった。従来9月は、住宅市況が閑散期となるが多かったものの、このトレンドに逆行する結果となった。要因としては新型コロナウイルスによる行動様式の変化や、低金利が長期化している点が考えられる。NAR(全米不動産業者協会)の関係者の中には、供給が逼迫しつつある状況ながら、年末にかけても更なる販売増を予想する声も上がっている。なお、ブルームバーグの事前予想では10月中古住宅販売件数を▲1.6%、件数ベースでは644万件を予想している。その他中銀関連では、18日(水)にボスティック、デイリー、カシュカリ、ローゼンブレンの4地区連銀総裁が討論会を予定している。19日(木)にはウィリアムズ・NY連銀総裁、カプラン・ダラス連銀総裁がパネルディスカッションへの参加をそれぞれ予定している。
- 本邦では16日(月)に7～9月期GDP(速報)が公表される。4～6月期GDPは前期比▲7.9%、年率換算で▲28.1%となり、3四半期連続のマイナス成長となった。マイナス幅はリーマンショック時を上回り、戦後最大の減少幅を記録した。主な内訳をみると、個人消費の減速が目立って前期比▲7.9%となった。設備投資も企業収益の悪化や先行き不透明感が増して同▲4.7%を記録した。輸出は同▲18.5%となった一方で、輸入はコロナ禍での消費財需要の高まりにより同+2.1%の増加となった。なお、ブルームバーグの事前予想では7～9月期のGDPに関して、4～6月期に景気の底打ちが確認されたことから前期比+4.4%、年率換算+18.9%とプラスへの回復を見込んでいる。それ以降に関しては、日銀の「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」では20年の成長見通し(中央値)を前年比▲5.5%としており、7月から▲0.8%ポイント下方修正されている。21年は同+3.6%のプラス成長を見込むものの、あくまで20年との比較であるため回復ペースは緩やかとなる予測となっている。

	本 邦	海 外
11月13日(金)	_____	・米10月PPI ・ユーロ圏9月貿易収支
16日(月)	・7～9月期GDP(速報)	・米11月ニューヨーク連銀製造業景気指数
17日(火)	_____	・米10月小売売上高
18日(水)	・10月貿易収支	・米10月住宅着工件数 ・ユーロ圏10月CPI(確報)
19日(木)	_____	・米10月中古住宅販売件数
20日(金)	・10月全国CPI ・10月製造業/サービス業PMI(速報)	・G20外相会合

【当面の主要行事日程(2020年11月～)】

ECB政策理事会(12月10日、1月21日、3月11日)

米FOMC(12月15～16日、1月26～27日、3月16～17日)

日銀金融政策決定会合(12月17～18日、1月20～21日、3月18～19日)

市場営業部・金融市場部
チーフマーケット・エコノミスト
唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です
<http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2020年11月12日	結局、解消されていないユーロ高～「量」の無力～
2020年11月11日	円高・ドル安予想を修正する必要があるのか？
2020年11月10日	アフターコロナ & アフターランプに沸く金融市場の整理
2020年11月6日	週末版
2020年10月30日	週末版(ECB政策理事会を終えて～ラガルド就任、1周年～)
2020年10月29日	ECB政策理事会プレビュー～求められる緩和と仕事～
2020年10月27日	中銀は環境に貢献すべきか？～ESG全盛の中で～
2020年10月26日	解せないバイデントレード～米金利とドルの逆相関～
2020年10月23日	週末版(2020年、どのような通貨が評価されているのか？～年初来の対ドル変化率を振り返って～)
2020年10月22日	続・プレグジット Q&A～首脳会議で深まった「溝」～
2020年10月20日	IMF秋季世界経済見通し改定の見えるリスクシナリオ
2020年10月19日	過去最悪の米財政赤字とIMF「財政報告」 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年9月分)
2020年10月16日	週末版(この状況でも底堅いユーロ相場～IMF最新見通しでも欧米成長率格差は過去最大～)
2020年10月15日	「ミニ合意」騒動とEU首脳会議の行方
2020年10月14日	元高の背景を整理～バイデントレードに加え金利と需給～
2020年10月13日	米大統領選挙に対する市場思惑をどう整理すべきか？
2020年10月9日	週末版(ECB政策理事会議事要旨(9月8～9日開催分)～露骨なユーロ高けん制の実情～)
2020年10月8日	深刻さを帯びてきたユーロ圏の物価情勢
2020年10月6日	プレグジットQ&A～現状と展望のための6つの論点～
2020年10月5日	バイデントレードとは何か？～元買い、ペソ買い、株売り～
2020年10月2日	週末版(日銀短観(9月調査)を受けて～業況改善の裏で進む業績悪化と不安な設備投資～)
2020年10月1日	米株高と企業収益、そして恒常所得の関係
2020年9月29日	日米欧で最大になったECBバランスシート
2020年9月28日	「民間部門の貯蓄過剰」で低体温化する経済
2020年9月25日	週末版
2020年9月24日	為替市場を規定するユーロの値動き
2020年9月23日	越冬リスクという論点～安全資産「金」の薄さ～ 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年8月分)
2020年9月18日	週末版(通貨高に苦しむECB～通貨政策化する金融政策～)
2020年9月17日	FOMCを終えて～日銀に似てきた情報発信
2020年9月15日	アベノミクスからスガノミクスへ～マクロ政策からミクロ政策へ～
2020年9月14日	マネー急増から何を読むべきか～「インフレの芽」なのか？～
2020年9月11日	週末版(ECB政策理事会について～実感する「ECBの日銀化」と「ユーロの円化」～)
2020年9月9日	過去の後退局面と何が異なるのか？～米雇用の深手～
2020年9月8日	ECB政策理事会プレビュー～ユーロ高けん制に動くか～
2020年9月7日	米8月雇用統計から何を読むか～「宿泊・飲食」の深手～
2020年9月4日	週末版
2020年9月3日	アベノミクス総括その②～なぜ円安になったのかを知るべき～
2020年9月2日	「真のリスクオフ通貨」になれるかの瀬戸際～試されるユーロ～
2020年9月1日	アベノミクス総括～「金融政策の無効性」という「地味な偉業」～
2020年8月28日	週末版(FRB戦略見直しとパウエル講演について～「アベレージ・ターゲット」という現状追認～)
2020年8月26日	腰折れたままの米消費者マインド～株価に連動しない誤算～
2020年8月24日	ECB政策理事会議事要旨～PEPP「全部使う」が公式見解～
2020年8月21日	週末版(FOMC議事要旨を受けて～ほぼ完全に否定された米国版YCC～)
2020年8月20日	米大統領選挙・議会選挙と為替市場の関係について 本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年7月分)
2020年8月18日	「ドル化した世界」におけるドル相場の限界
2020年8月17日	ECBの資産購入運営の現状～PSPPとPEPPの乖離～
2020年8月14日	週末版(ユーロ/ドルは購買力平価(PPP)に向かっているのか？～「1.20」台復帰を目指して～)
2020年8月12日	2020年上半期の円の基礎的需給環境について
2020年8月11日	全てを押し上げているのは実質マイナス金利なのか？
2020年8月7日	週末版
2020年8月4日	米製造業マインドよりも心配な米消費者マインド
2020年8月3日	「ユーロにあって円に無いもの」～基軸通貨性を考える～
2020年7月31日	週末版
2020年7月28日	「ドル売りの受け皿」がテーマ～過去最大の欧米逆転～
2020年7月27日	ユーロ上昇の理由～金利差縮小よりドル過剰感～
2020年7月22日	週末版
2020年7月21日	欧州銀行の貸出態度調査～ロックダウンの深手～
2020年7月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年6月分) 臨時EU首脳会議で透けて見えた「第三の亀裂」
2020年7月17日	週末版(ECB政策理事会を終えて～PEPPは使い切り、「2つの機能」に向けて～)
2020年7月16日	ユーロ相場の近況について～上昇の瀬戸際～
2020年7月15日	臨時EU首脳会議～交錯する「2人の議長」～
2020年7月14日	円相場の基礎的需給環境の現状と展望
2020年7月13日	ECBプレビュー～ラガルドインタビューは現状維持を示唆～
2020年7月10日	週末版
2020年7月9日	カレンシーボードに迫る脅威～米国の「諸刃の剣」～
2020年7月8日	増枠分の天井に近づいたECBの拡大資産購入プログラム(APP)
2020年7月7日	対外直接投資はこれからも増えるのか？
2020年7月3日	週末版(明らかになる「物価差なき世界」～金利と共に失われる為替の変動要因～)
2020年7月2日	金価格が上がっている理由～リスクオフという方便～
2020年7月1日	円相場の需給環境～ストック円高、フロー円安～
2020年6月26日	週末版(IMF、GFSR改訂を受けて～「実力以上の株価」という必要悪～)
2020年6月25日	ユーロ相場はなぜ堅調なのか？
2020年6月23日	メルケル首相に託されたEU復興基金の先行き
2020年6月22日	ECB、「真のバズーカ」と「影の政策金利」
2020年6月19日	週末版
2020年6月18日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2020年5月分) 香港ドル相場の現状と展望～ベッグ崩壊の現実的な可能性は～ 二番底はメインシナリオの1つとして見るべきか
2020年6月17日	29年連続「世界最大の対外純資産国」の読み解き方
2020年6月15日	週末版(EU首脳会議プレビュー～メルケル首相への花道論も～)
2020年6月12日	FOMCを終えて～当分失われそうなドル/円のボラティリティ～
2020年6月11日	米国はいずれ通貨政策に訴えかけるのか？～特権の行使～
2020年6月9日	金利上昇を容認したFRBと視野に入るYCC
2020年6月8日	週末版(ECB政策理事会を終えて～2022年末までバランスシート残高は高止まり～)